

戸倉上山田地区かまわちづくり計画について

【ご意見】（令和7年7月10日受付）

地球温暖化で各地でゲリラ豪雨が起っています。今後その心配はますます大きくなると考えられます。そんな中、千曲川の河川敷を整備して「川沿いの遊歩道や親水空間、地域資源を活かしたイベント拠点などを整備」するなどという事業に心配はないのでしょうか。

千曲川の川幅を一気に狭めることにもなり、その点でもせつかく作っても河川敷が大雨で使えなくなる危険性は増大していると思います。市としてはその危険性をどの程度計算しておられるのかをお聞きしたいです。

【回答】

戸倉上山田地区かわまちづくり計画につきましては、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域住民及び民間事業者、千曲川の管理者である国土交通省千曲川河川事務所と連携し、賑わいある良好な空間形成を目指す取り組みであります。

整備箇所においては現況の地形を活かした整備を行い、現況の川幅を縮めるなど大きく改変するものではありません。千曲川の流下能力についても現況から低下することはありません。

また、河川の増水が予測される場合や、利用者が多い時期、イベントの開催時などには、施設管理者による見回りや注意喚起を強化する仕組みをしっかりと構築し、安全に利用ができるよう計画してまいります。